

平成24年度「自治体国際協力促進事業」実施計画書

団体名	
担当部課	
担当者名	
連絡先	TEL
	FAX
	メールアドレス

1 事業名

2 事業の実施時期

開始予定日 平成 年 月 日
完了予定日 平成 年 月 日

3 事業の相手方となる海外自治体等名（正式名称で記載してください）

4 共同する地方自治体等（地方自治体又は地域国際化協会）の有無についてご記入ください。

- 共同する地方自治体等がある（団体名： _____）
 共同する地方自治体等がない。

5 連携するNGO・国際機関等の有無についてご記入ください。

- 連携するNGO・国際機関等がある（→「10 他団体との連携について」にご記入ください）
 連携するNGO・国際機関等がない

6 クレアでの助成期間終了後の本事業の計画について以下の3択から選択してください。

※クリアでは、JICAなど他団体が実施している助成制度への橋渡し役も務めていきたいと考えております。

- 助成終了後も実施継続する予定である

（ クレア以外の機関で助成を受ける具体的な計画がありましたら、現状をご記入ください
 機関名：
 助成事業名等： _____ ）

- 終了予定である
 未定である

7 今回要望している事業について、JICA（草の根技術協力事業 地域提案型）への申請状況を教えてください。

（JICAへの橋渡し役を務めていく上での資料とするための質問項目であり、採択の要素とは関係ありません。）

過去に申請したが、採択されなかった

本年度申請中である

全く申請していない

8 助成申請額

（単位：円）

総事業費	助成対象経費 (A)	助成申請額 (B)	その他 (A-B)

※ 助成対象経費（A）の内訳は、別紙「経費内訳書」の助成対象経費欄に記載してください。

9 事業計画

① 事業目的
② 立案経緯
③ この事業に先駆性がある点

④ 事業内容
a 事業計画全体の概要
b 平成24年度実施概要
c 当事業の将来展望（最終目標）
d その他（当事業が地域住民に利すると考えられる点等）
e 前年度事業と比べ本年度事業の質的拡充点 （平成23年度から引き続き同じ事業を申請する場合のみ記入）

10 他団体との連携について

① 連携団体名（正式名称で記載してください）
② 連携の経緯
③ 役割分担 a 地方自治体または地域国際化協会側（この「実施計画書」の記入団体側）： b 連携団体側：
④ 連携により考えられるメリット

(別紙)

経費内訳書

(単位：円)

事業内容	総事業費	助成対象経費	積算根拠	経費の財源内訳				事業実施主体
				自治体国際 化協会助成	自治体等 負担	NGO負担	その他負担	
合計				助成申請額				

- (注) 1. 事業内容ごとに経費の小計を設けてください。「自治体国際化協会助成」欄の千円未満の端数は小計ごとに切り捨ててください。
2. 「NGO負担」欄は申請自治体の担当分のみ（この記入例では〇〇県分）を記載してください。
3. 総事業費と助成対象経費に差がある場合は、総事業費分の財源内訳を< >書きにしてください。
4. その他負担欄に記載する場合は、その他団体が自治体国際化協会へ助成申請する額も含めて記載してください。